

討論

議案第73号 平成20年度平塚市一般会計補正予算

反対 平塚クラブ

平塚クラブを代表し、議案第七三号平成二十年平塚市一般会計補正予算の駅西口東地自転車・バイク駐車場整備に関する補正予算にのみ反対し、そのほかの補正予算については賛成の立場で討論をさせていただきます。

この案件のJR線路沿いの土地は、平塚駅にライナーホーム設置のために市民の税金で取得したものです。しかし、その後約一〇年におよび努力されてきましたが、平成十八年、大変残念なことに計画は頓挫し、あきらめざるを得なくなりました。その後「平塚駅周辺放置自転車対策および自転車駐車場の再整備計画」が提案された経緯があります。

そもそも、総額二六億円の税金で取得した土地は、どう活用されたら、市民サービスや、市民の利益のためにつながるのでしょうか。もちろん、今回出された自転車・バイク駐車場を建設すること

は市民の要望の一つでしょう。有料の自転車駐車場となっても現段階では必要な施策だと考えています。しかし、市民の要望はこれだけでしょいか。

この場所には観光案内所や市民サービス窓口や会議室、集会所、無料休息所などの声も聞き及んでいます。もちろん地元商業者からは店舗が入る余地も必ずあってほしいと要望されています。要するに複合的な活用を望まれているのではないのでしょうか。平成八年に市民の理解を得て取得したものを計画が頓挫したからといって、行政執行部が一方的な計画を打ち出すことは市民不在です。

今回の自転車駐車場計画用地は、約二億円、一平方メートルあたり七〇万五〇〇〇円で取得した貴重な市民財産です。行政がまづやるべき対応は、ライナーホーム計画のてんまつと、当初の理由と違った土地利用の仕方をする

このような現状において、市民とともに十分に議論を重ねることがどうしても必要と考えます。

八月に出された「平塚駅周辺放置自転車対策および自転車駐車場の再整備計画」は、スケジューリングも総事業費さえもない、極めて大まかな概要程度のものであり、市内各部との調整もなく稚拙な内容に感じられます。市長流に言わせていただく、議論不足と密度の低い、熟度の低い結果は一向に改善されていません。市長マニフェストに対する熱い思いを実現するためにも、一度原点に戻り、十二月議会には本市の総力を持って再度議案上程すべきと考えます。(会派を代表して行った討論から抜粋しました)

この整備については、現在駅前大通り線の歩道上は、常時二重・三重の状態です。自転車・バイクが駐車されておき、歩行者の通行の障害となつて道を塞いでいます。パルロード、公園通りの歩道上についても、放置された自転車が多数占領し、もし地震が発生した場合には、避難者や緊急車両の通行の妨げとなり、より大きな災害につながるのではないかと危惧します。

また、二六万都市で鉄道駅が一つしかない本市の特殊性からも、自転車対策は、まちづくりの重要施策であり、早期に解決しなければ、中心市街地の賑わいも、市民の安全も確保できないと考え、安全かつ利用しやすい自転車・バイク駐車場を提供することが、本市の住みやすさ・暮らしやすさを高め、ひいては平塚の活力につながることを考えます。従つて駅周辺自転車・バイク駐車場の整備は喫緊の課題であり、早急な整備が必要なのは誰が見ても明白であります。

以上の考えから、湘南民主クラブ(山原栄一、府川正明、水野泰助、出村光、小泉春雄、山口聖)は、議案第七三号平塚市一般会計補正予算に賛成

この補正予算の内容は、駅西口東地自転車・バイク駐車場建設(以下駐輪場建設と言ふ)を除き、生活関連予算は賛成であります。しかし、今回の駐輪場建設は、将来にわたる平塚市の賑わいの創出にとつて最も重要な案件であります。市長は六月定例会の答弁で要約すると「協議も調整も一〇〇%整っていないことから上程しなかつた」と答弁をしております。我々は駐輪場建設は必要不可欠の課題と認識して、国に行き「まちづくり交付金」の特徴の基本や目的外使用について話を伺ってきました。その結果として、担当部局と何度か話も提案もさせていただけで、良い手ごたえを期待して九月定例会に臨みました。しかし、市長からはこの事業に対して具体的な説明もなく、付焼刃的な駐輪場整備計画が示されただけで、関係する全ての部で、どのような検討がされたかが何も示されませんでした。我々の考えはさまざまありますが、駐輪場建設に最低でも必要な条件は、

駐輪場の放置自転車対策は早急に取り組むべき重要課題である。多くの市民が公設駐輪場の整備を待ち望んでいる。西口再開発は、三段階で進める方針が示されている。最初は東地の駐輪場建設で九月議会に予算提案されている内容、二番目は西地の駐輪場整備と西口北側のエレベーター設置、三番目が中地の商業ビル建設である。もし予算案が否決されるようなことになれば、全ての事業が中止になる。議員の賢明な判断をお願いしたい。

江口友子は、補正予算に賛成します。駅周辺の駐輪場確保は平塚の長年の課題でした。にもかかわらず、具体的な代替案も示さないうまま、補正予算を否決することは、多くの市民ニーズに反していると考えます。

厚見利子は駐輪場建設計画に賛成します。駅周辺の歩道は、点字ブロックの上にも駐輪場が利用者への利便性と通行者の安全確保が喫緊の課題です。また、自転車利用促進につながるCO2対策としても望まれます。

市民派の会
無賛成
無所属

賛成 湘南民主クラブ

今議会に提案された一般会計補正予算一億一七四〇〇〇〇円は、地震等防災対策事業、環境政策推進事業、生活道路整備事業、公園整備事業、まちづくり総合整備推進事業等生活関連予算が数多く盛り込まれています。特に、まちづくり総合整備推進事業の駅西口東地自転車・バイク駐車場

この整備については、現在駅前大通り線の歩道上は、常時二重・三重の状態です。自転車・バイクが駐車されておき、歩行者の通行の障害となつて道を塞いでいます。パルロード、公園通りの歩道上についても、放置された自転車が多数占領し、もし地震が発生した場合には、避難者や緊急車両の通行の妨げとなり、より大きな災害につながるのではないかと危惧します。

また、二六万都市で鉄道駅が一つしかない本市の特殊性からも、自転車対策は、まちづくりの重要施策であり、早期に解決しなければ、中心市街地の賑わいも、市民の安全も確保できないと考え、安全かつ利用しやすい自転車・バイク駐車場を提供することが、本市の住みやすさ・暮らしやすさを高め、ひいては平塚の活力につながることを考えます。従つて駅周辺自転車・バイク駐車場の整備は喫緊の課題であり、早急な整備が必要なのは誰が見ても明白であります。

以上の考えから、湘南民主クラブ(山原栄一、府川正明、水野泰助、出村光、小泉春雄、山口聖)は、議案第七三号平塚市一般会計補正予算に賛成

この補正予算の内容は、駅西口東地自転車・バイク駐車場建設(以下駐輪場建設と言ふ)を除き、生活関連予算は賛成であります。しかし、今回の駐輪場建設は、将来にわたる平塚市の賑わいの創出にとつて最も重要な案件であります。市長は六月定例会の答弁で要約すると「協議も調整も一〇〇%整っていないことから上程しなかつた」と答弁をしております。我々は駐輪場建設は必要不可欠の課題と認識して、国に行き「まちづくり交付金」の特徴の基本や目的外使用について話を伺ってきました。その結果として、担当部局と何度か話も提案もさせていただけで、良い手ごたえを期待して九月定例会に臨みました。しかし、市長からはこの事業に対して具体的な説明もなく、付焼刃的な駐輪場整備計画が示されただけで、関係する全ての部で、どのような検討がされたかが何も示されませんでした。我々の考えはさまざまありますが、駐輪場建設に最低でも必要な条件は、

駐輪場の放置自転車対策は早急に取り組むべき重要課題である。多くの市民が公設駐輪場の整備を待ち望んでいる。西口再開発は、三段階で進める方針が示されている。最初は東地の駐輪場建設で九月議会に予算提案されている内容、二番目は西地の駐輪場整備と西口北側のエレベーター設置、三番目が中地の商業ビル建設である。もし予算案が否決されるようなことになれば、全ての事業が中止になる。議員の賢明な判断をお願いしたい。

江口友子は、補正予算に賛成します。駅周辺の駐輪場確保は平塚の長年の課題でした。にもかかわらず、具体的な代替案も示さないうまま、補正予算を否決することは、多くの市民ニーズに反していると考えます。

厚見利子は駐輪場建設計画に賛成します。駅周辺の歩道は、点字ブロックの上にも駐輪場が利用者への利便性と通行者の安全確保が喫緊の課題です。また、自転車利用促進につながるCO2対策としても望まれます。

市民派の会
無賛成
無所属

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

請願の審査概要

九月定例会の常任委員不採択とすべきものとなり、本会議でも不採択と決定した。

政治への個人寄付を拡 社会保障費を毎年二、 けるため、租税特別措置 二〇〇億円抑制する方針 県民税の特別徴収はおこ 法の改正を求める意見書 の撤回を求める請願では、 なわな(こと)との意見 の提出を求める請願では、 社会保障費は、二〇〇二 書提出を求める請願では、 寄付金控除に関する措置 年度から二〇〇七年度ま 公的年金からの市県民税 の対象を広げること、は、 一兆四〇〇〇億円が の特別徴収は、平成二十 多くの方々に対し政治に 削減され、医療費の窓口 一年十月からであり、今 参加する道を開くことが 負担増、年金支給額の減 後の推移を見たいので、 できるため、本請願を採 額など、声を上げること 不採択とすべきである。 択とすべきであるとの意 のできない弱者に負担を の意見があった。一方、 見があった。一方、この 強いていることから、意 市県民税は、現状の支払 請願では、全国市議会 見書の送付を求める意見 方法でいくら納めるか 長会での議論の進展を見 であるので、本請願を採 分ける制度が望ましいと 守ってきたが、いまだに 択とすべきとの意見があ 考えるので、本請願を採 進展がないため、本請願 った。一方、社会保障費 択とすべきであるとの意 は不採択とすべきである を抑制する方針は、国債 見もあった。採決した結 との意見もあった。採決 発行を三〇兆円以下に抑 果、不採択とすべきもの した結果、不採択とすべ えるため、痛みを伴う改 となり、本会議でも不採 きのものとなり、本会議 革の一つとして政府が実 択と決定した。

も不採択と決定した。

後期高齢者医療制度の 抜本的見直しを求める請 したいと考えるので、本 書提出を求める請願では、 この制度は高齢 請願は不採択とすべきと 者に負担を強いるもので の意見もあった。採決し 新保険法により、健全 ある。見直しの動きも出 た結果、不採択とすべき な共済団体までもがその ているが、高齢者が長生 ものととなり、本会議でも 運営に行き詰まっている として大事にされる制度 不採択と決定した。

状況であり、今後適用 にしてほしいので、本請 ぎに反対する」意見書提 除外を求めるため、本請 願を採択とすべきである との意見があった。一方、 出を求める請願では、消 費税の税率引き上げに関 社会環境が多様化してい が、市町村の保険財政は しては、国でもさまざま 圧迫を受けている。この な議論がなされている中 法律の下で運営されるこ 制度も保険料の格差を是 で、要望は時期尚早であ とが妥当ではないかと考 正する趣旨で行われてお り不採択とすべきである のので、不採択とすべ り、国でも議論がなされ との意見があった。一方、 きであるとの意見もあつ ている途中でもあること 総選挙の時期が近づ中、 た。採決した結果、不採 から、本請願は不採択と 消費税の税率引き上げは 択とすべきものとなり、 すべきであるとの意見も 大きな争点となっており、 本会議でも不採択と決定 した。採決した結果、こ れに反対する声も聞か した。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。

この補正予算の議案では、主に、約九億三〇〇〇万円が計上された西口東地自転車・バイク駐車場の建設による駅周辺の活性化などが審議の焦点となりました。最終日に七人が討論を行い、採決した結果、賛成一、反対一八で否決しました。